



<Media Alert>

2023年2月1日

Amazon、単一の企業として年間最大の再生可能エネルギーを購入

2022年に11か国133件の新規プロジェクトを加え、再生可能エネルギーによる発電能力を8.3GW増強
再生可能エネルギーのポートフォリオ全体の発電能力は計20GW以上

(シアトル - 2023年1月31日発表) Amazonは2023年1月31日、2022年の1年間に11か国133件の新たなプロジェクトを加え、再生可能エネルギーによる発電能力を8.3ギガワット (GW) 増強したことを発表しました。これにより、Amazonの再生可能エネルギープロジェクトは世界22か国401件、合計の発電能力は20GW以上となります。これは、米国の530万世帯、もしくはヨーロッパの1530万世帯に供給する電力量に相当します。Amazonは今後も、世界中のAWSデータセンターや物流拠点であるフルフィルメントセンター (FC)、実店舗など、Amazonの事業に電力を供給するため、風力・太陽光発電プロジェクトを追加し、再生可能エネルギーの調達を進めていきます。

継続的な再生可能エネルギーへの投資により、Amazonが発表している再生可能エネルギーの購入量は、単一の企業として年間で過去最大となりました。Bloomberg New Energy Financeによると、Amazonは2020年に世界最大の再生可能エネルギー購入企業となって以降、その地位を維持しています。Amazonによる再生可能エネルギーへの投資は、イノベティブな取引構造やテクノロジー、クラウドソリューションを通じた、新たな地域での成長を加速させます。

これらの再生可能エネルギーの調達により Amazon は、当初の目標である2030年よりも5年早い、2025年までの100%再生可能エネルギーによる事業運営に向けてまた一歩近づきます。2022年には、オーストラリア、カナダ、フィンランド、フランス、ドイツ、日本、ポーランド、シンガポール、スペイン、米国の他、新たにブラジル、インド、インドネシアのプロジェクトを発表しました。2022年の終わりに新たに25件のプロジェクトを加え、Amazonの再生可能エネルギープロジェクトは現在、風力および太陽光発電所164件、自社関連施設の屋上太陽光発電プロジェクト237件の計401件となりました。これらの運用が開始されると、毎年56,881ギガワット時 (GWh) のクリーンエネルギーの生成が見込まれます。

アマゾンウェブサービス (AWS) のCEOであるアダム・セリプスキー (Adam Selipsky) は、次のように述べています。「わたしたちは世界各地で新たな再生可能エネルギープロジェクトの立ち上げを続けており、当初の目標よりも5年早く、自社事業を100%再生可能エネルギーで運営する取り組みが順調に進んでいることを嬉しく思います。11か国133件の新たな再生可能エネルギープロジェクトにより、2022年はAmazonにとって記録的な年となりました。これらのプロジェクトは、わたしたちがさまざまな再生可能エネルギーの調達先を有し、新しい市場に新規のテクノロジーを導入し、気候変動の影響をさらに軽減するための能力を備えていることを示しています」

2022年以内に発表されている108件に加えて、2022年の再生可能エネルギープロジェクトとして本日、下記を含む25件の新規プロジェクトを発表します：

- ヨーロッパでは、フィンランド、ドイツ、イタリア、スペイン、英国で新たに計11件372メガワット (MW) の発電能力を追加しました。Amazonは世界で最も優れた再生可能エネルギー資源のひとつである風力を活用するため、洋上風力発電プロジェクトを増やしています。ヨーロッパにおいて新たに投資した2件の洋上風力発電プロジェクトの発電能力は、合計280MWになります。
- 北米では、アリゾナ州、カリフォルニア州、テキサス州において計4件、合計918MWのプロジェクトを追加しました。太陽光発電とエネルギー貯蔵システムを組み合わせたカリフォルニア州の新規プロジェクトにより Amazon は、太陽光発電によるクリーンエネルギーを貯蔵し、太陽光が利用できない夜間や、需要の高い時間帯においてもクリーンエネルギーを利用することが可能となります。同様にカリフォルニア州では、航空貨物の梱包や空輸オペレーションを行う [Amazon Air Hub](#) に初めて、オンサイト型の太陽光発電プロジェクトを追加しました。

- アジア太平洋地域では、10 件の再生可能エネルギープロジェクトを追加しました。インドでは、[Amazon 初の 2 件の風力・太陽光ハイブリッドプロジェクト](#)に続いて 3 件目となる、200MW の風力・太陽光ハイブリッドプロジェクトが追加されました。再生可能エネルギーのハイブリッドシステムは、同国が発電における脱炭素化を推進し、中期的に電力コストを引き下げていく上で、重要な役割を担います。これらのシステムは、発電プロファイルの異なる 2 つのテクノロジーを組み合わせることで再生可能エネルギーによる発電の変動幅を抑え、電力網の安定性を高めることで、クリーンエネルギーを最大限に活用します。インドネシアでは、Amazon として初めての再生可能エネルギープロジェクトに投資し、同国初の追加性のある企業向け大規模太陽光発電プロジェクトに関する協定を締結しました。日本では、38MW の 1 件の大規模太陽光発電所と 3 件の屋上太陽光発電を加えました。

再生可能エネルギーの急速な拡大は、気候変動に対抗するために最も効果的な戦略のひとつです。企業による再生可能エネルギーの調達、温室効果ガスの排出削減に最大限貢献できるよう、Amazon は先ごろ、[新たに「Emissions First partnership」](#)の結成を主導しました。この取り組みは、世界で最も優れた炭素会計（カーボンアカウンティング）基準を最新化し、世界の送電網における温室効果ガスの排出量削減を可能な限り早く、そして費用効率性が高く行えるよう、提言活動をリードします。

Bloomberg New Energy Finance のサステナビリティリサーチの責任者であるカイル・ハリソン (Kyle Harrison) 氏は、次のように述べています。「Amazon のクリーンエネルギーポートフォリオは、企業の中でトップであるだけでなく、今や電力事業者の中でも世界有数であるといえます。世界的なエネルギー危機やサプライチェーンのボトルネック、そして高い金利に悩まされた 1 年の中で、クリーンエネルギー調達の年間記録を更新したという事実は、Amazon の先進的な計画と、電力市場への対応、そして長期の契約を実行する専門性を示すものです」

Clean Energy Buyers Association (CEBA) の CEO であるミランダ・バレンタイン (Miranda Ballentine) 氏は、次のように述べています。「2022 年の不透明な市場の中で、Amazon はクリーンエネルギーの購入をリードし、再生可能エネルギーへのコミットメントを強化しました。Amazon は CEBA の Deal Tracker Top 10 のトップに位置しており、その脱炭素化に向けたコミットメントは、われわれのコミュニティ、そして世界へ明確に示されています」

Climate Group のエネルギー担当ディレクターで Asia Clean Energy Coalition (ACEC) のスポークスパーソンでもあるサム・キミンズ (Sam Kimmins) 氏は次のように述べています。「アジアの国々が石炭や天然ガスからの移行を続ける中、Amazon による風力・太陽光への投資は、この地域において企業からの再生可能エネルギー電力に対する需要は大きく、そして拡大していることを裏付けるものです。今後も再生可能エネルギーの供給を急速に拡大し、アジアでの 100% 再生可能エネルギーの達成という共通の目標に向けて、Amazon や他の ACEC 加盟企業と協力していくことを楽しみにしています」

Amazon は Global Optimism と共に、パリ協定の目標よりも 10 年早く、2040 年までにネットゼロカーボンの達成を約束する「The Climate Pledge（気候変動対策に関する誓約）」を立ち上げました。現在、Best Buy、IBM、Microsoft、PepsiCo、Siemens、Unilever、Verizon、Visa など、世界中から 400 社近い企業が The Climate Pledge に署名しています。また Amazon は、配送車両の電動化や化石燃料に代わるエネルギー源の調達など、配送網の変革を進めています。現在、Rivian 製の数千台の電動配送車を全米 100 以上の都市・地域に展開しています。ヨーロッパではお客様への商品のお届けに 3,000 台を超える電動配送車を使用されており、アジア太平洋地域においても電気自動車に関する複数のパートナーシップを締結しています。そして 20 億ドル規模の「Climate Pledge Fund」を通じて、脱炭素化につながるサービスやソリューションの開発に投資しています。その他、Amazon のサステナビリティの取り組みはこちらをご覧ください。<https://sustainability.aboutamazon.com/>。

※本プレスリリースは、現地時間 2023 年 1 月 31 日に米国で発表されたプレスリリースを翻訳し、日本向けに編集したものです。

Amazon について

Amazon は 4 つの理念を指針としています。お客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。Amazon は、地球上で最もお客様を大切にすること、そして地球上で最高の雇用主となり、地球上で最も安全な職場を提供

することを目指しています。カスタマーレビュー、1-Click 注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazon プライム、フルフィルメント by Amazon (FBA)、アマゾンウェブサービス (AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Career Choice、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa、Just Walk Out technology、Amazon Studios、気候変動対策に関する誓約 (The Climate Pledge) など、Amazon が先駆けて提供している商品やサービス、取り組みです。Amazon について詳しくは Amazon Newsroom (<http://amazon-press.jp>) および Amazon ブログ (<http://blog.aboutamazon.jp>) から。

アマゾンウェブサービスについて

アマゾンウェブサービス (AWS) は、2006 年に他社に先駆けてサービスを開始して以来、世界で最も包括的かつ幅広く採用されたクラウドサービスになっています。AWS は、コンピューティング、ストレージ、データベース、ネットワーク、分析、機械学習および人工知能 (AI)、モノのインターネット (IoT)、モバイル、セキュリティ、ハイブリッド、仮想現実 (VR) および拡張現実 (AR)、メディア、ならびにアプリケーション開発、展開および管理に関する 200 種類以上のフル機能のサービスを提供しています。AWS のサービスは、31 のリージョンにある 99 のアベイラビリティゾーン (AZ) でご利用いただけます。これに加え、カナダ、イスラエル、ニュージーランド、タイの 4 つのリージョンにおける 12 の AZ の開設計画を発表しています。AWS のサービスは、アジリティを高めながら同時にコストを削減できるインフラエンジンとして、急速に成長しているスタートアップや大手企業、有数の政府機関を含む数百万以上のアクティブなお客様から信頼を獲得しています。AWS の詳細については以下の URL をご参照ください。 <https://aws.amazon.com/>